

# 神奈川県横浜市『在宅サービス研究会』

## 1. 発足の経緯と目的

「在宅サービス研究会」は、財団の重点課題“地域ケア・システムに関する調査研究”の一環として、医療機関との連携を含めたシステム構築へのモデル・フィールド地域を模索して、財団賛助会員でもある三菱重工(株)大倉山病院その周辺医療機関或は、各種在宅ケア・サービス機関との連携の可能性を検討する目的をもって、まず横浜市港北区におけるミニデイ・在宅介護・給食サービスなどの福祉活動をしている団体のメンバーとともに横浜市の「ゆめはま2010プラン」に位置づけされた高齢者の福祉保健計画が、質的・量的・制度的に市民にとって本当に利用し易いものに改革されていくものかどうかを追跡調査すると同時に、医療機関の在宅ケアサービスや市民参加型団体・民間企業の各種サービスが、公的サービスと融合してどのように地域システムとして定着していけるかを見極め、その上で福祉活動している市民ボランティアグループは、今後連帯・連携して何を成すべきかを定める指針と解決策の提言を目的として調査研究を実施致しました。